

日本株に投資しながら大震災復興の寄付もできる

『日本応援株ファンド』のご紹介

ファイナンシャル・プランナー 伊藤 亮太

2011年6月20日から、SBI証券、カブドットコム証券、マネックス証券、楽天証券のネット証券4社による投資信託の販売協力プロジェクト「資産倍増プロジェクト」において、ネット証券専用ファンドシリーズ第1号ファンドとして「日本応援株ファンド（日本株）（愛称：スマイル・ジャパン）」が募集開始されました。この投資信託では、信託報酬の一定割合が東日本大震災復興のための寄付となることもあり、大変注目を集めています。今回はこの『日本応援株ファンド』の魅力、メリット・デメリットについてご紹介いたします。

■日本応援株ファンドの特徴

ネット証券専用ファンドシリーズ第1号となる『日本応援株ファンド』は、三菱UFJ投信が7月11日に設定を行うものです。競争力のある国内優良企業の株式の中から、割安な銘柄に投資を行う投資信託であり、値上がり益追求型の投資信託（アクティブ型）になります。

通常、アクティブ型の投資信託では、コスト部分、つまり販売手数料や信託報酬、信託財産留保額等に関して高いイメージがあるのですが、今回の『日本応援株ファンド』では、販売時にかかる販売手数料・解約時にペナルティとしてかかる信託財産留保額が無料、保有時にかかる信託報酬も年1.05%と非常に低コストである点が魅力的です。しかも、設定後2年間の信託報酬のうち、年0.46%に関しては東日本大震災復興のための寄付となります。例えば、1,000億円のお金が集まれば年間で4億6000万円寄付されるといったイメージになります。間接的ではありますが、日本企業に投資しながらかつ寄付も行えるといった点は評価できるといえますね。

また、ネット証券ならではのようですが、毎月1,000円からの積み立ても可能となっています。気軽に投資ができ、日本を盛り上げられる。そんなファンドに投資をすることは意義のあることではないでしょうか。

ファンドの投資対象は、①財務が健全であること（キャッシュリッチである、負債が少ない）、②高い業界シェアを誇る（競争力のある商品やサービスを提供している）、③株主還元（高い配当金の支払いを行う）といった観点から競争力のある優良企業（30～50銘柄程度）を選定する模様です。また、割安度にも着目し、PER（株価収益率）、PBR（株価純資産倍率）、配当利回りといった指標も銘柄選定の基準として活用される模様です。年2回決算（6月、12月の各5日（休業日の場合は翌営業日））であり、分配金額は委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定すること。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2011 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

■デメリットは信託期間が短いこと

それではデメリットについても見ておきましょう。このファンドにおいては、必ずしも長期間投資を行えるものではありません。信託期間は2016年6月3日（設定は2011年7月11日）ですので、設定から信託期間満了まで保有していたとしても最長約5年間しか投資を行うことはできません。

そのため、10年、20年といった長期の投資を考える際には、他の金融商品を検討する必要があります。また、当然ながら繰上償還リスクがあります。例えば、受益権の口数が10億口を下回る場合などにおいては繰上償還される可能性があります。

その他、実際には運用を開始してからでないと運用のパフォーマンスを確認することはできません。新しいファンドなので仕方がありませんが、運用成績がよいかどうかは過去の実績がないため、判断できないといえます。株式に投資しますから、当然ながら価格変動リスクや流動性リスクなど通常の株式投資を行ううえでのリスクも存在する点は念のため理解しておきましょう。

今回はネット証券専用ファンドシリーズ第1弾、日本応援株ファンドをご紹介いたしました。日本に投資し、震災復興に寄与する。そんなファンドへ投資を行うことも検討されてみてはいかがでしょうか。

■概要

購入の申込期間	当初申込期間：2011年6月20日から2011年7月8日まで 継続申込期間：2011年7月11日から2012年9月4日まで ※上記期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます
購入価額	当初申込期間：1口あたり1円 継続申込期間：購入申込受付日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください
申込締切時間	継続申込期間において、原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします
信託期間	2016年6月3日まで（2011年7月11日設定）
繰上償還	以下の場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります ・受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合 ・ファンドを償還させることが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
決算日	毎年6・12月の各5日（休業日の場合は翌営業日） ※第1回目の決算日は2011年12月5日
収益分配	年2回の決算時に分配 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資可能
信託金の限度額	5,000億円

（出所）三菱UFJ投信「平成23年6月3日プレスリリース 『ネット証券専用ファンドシリーズ 日本応援株ファンド（日本株）（愛称：スマイル・ジャパン）』 募集・設定について」より一部抜粋
<http://www.am.mufg.jp/text/110603release.pdf>

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2011 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.